

り、上の耳はフクロ縫にして、臺の桁へ打組をもつて結付く、前後に口あり、帳へ入御の時は、後の口より入御あり、還御も又同じ、正中に御椅子を居へ、朱ヌリにて青瑣あり、帳の裏は紫也、上ハ承塵あり、豎横布の事は不覺悟ニ御座候、白き平緒のやうに覺へ申候へども、是も袋耳にて桁へ打紐にて結付ケたるやう也、

〔家屋雜考〕戸帳 戸帳は、主人の好による事なれども、帳臺の入口へは、翠簾をたれず、必ず戸帳を

用ふる事なり、すゝむしの巻に、御帳のかたびらよ、おもてながらあげてなどかけるも、此戸帳のことなり、催馬樂に、我家ハとぼりちやうなもたれたるに、大君

斗帳製作

〔延喜式<sup>十七</sup>内匠<sup>七</sup>〕御斗帳一具、高八尺一寸、方一丈二尺二寸、土居料六七寸、桁二枚、柱料簀子十四枚、天井料檜樽八材、熟

銅大八斤、減金小六兩二分、水銀小三兩一分、鐵二延、膠小十二兩、漆一斗四升、掃墨四升、洗刷料油四

合、木賊四兩、篋十株、洗革方一尺、酢二合、天井裏料白綾一疋五丈三尺、表料帛一疋五丈三尺、縫料絲

三兩、絞漆料帛三尺、石見綿四斤、調布三尺、下銅湯料調布三尺、巾料布三尺、黏料糯米二升、伊豫砥一

顆半、青砥一枚、合漆料燒土一斗四升、炭二斛、和炭十一斛、七斗五升、長功二百卅二人、木工七十一人、鐵八人、畫三人、漆百人、張二人、夫十四人、中功二百八十二人、小半<sup>工</sup>二百六十六人、短功三百廿三人、工三百九人、

〔延喜式<sup>十四</sup>縫殿<sup>四</sup>〕斗帳

斗帳一具、高八尺、帷八條、四條七幅、四條七幅、並長一丈、料絹十七疋二丈、表裏各八疋、綿八十四屯、七幅四條、別十一屯、六

帽甲一條、料絹一疋一丈五尺、表裏各三丈、紐六十四條、料絹二疋、條別長七尺五分、絲一綯、斗帳一具、高

尺、帷八條、四條六幅、四條四幅、並長九尺、料絹十三疋一丈二尺、表裏各六疋、綿七十六屯、六幅四條、別十屯、五幅

一條、料絹一疋一丈五尺、表裏各三丈、紐六十四條、料絹一疋五丈二尺、條別長七尺、絲八兩、

〔延喜式<sup>五</sup>齋宮〕年料供物

斗帳、料絹七疋二丈四尺、綿卅屯、